

令和3年度 坂井市立木部小学校 スクールプラン

教師の願い
 ◆笑顔で挨拶のできる明るい子
 ◆優しく心豊かな子
 ◆よく考え、思いを表現できる子
 ◆最後までやり抜く子
 ◆興味関心が旺盛で向学心に燃える子

めざす学校像
 ・子どもが生き生きと楽しく活動する学校
 ・一人一人の子どもの居場所がある学校
 ・子どもも教職員も支え合い、笑顔で一段上をめざす温かな学校
 ・地域に生きる子を共に育てる開かれた学校

学校教育目標

笑顔で登下校 居心地の良い学級・学校

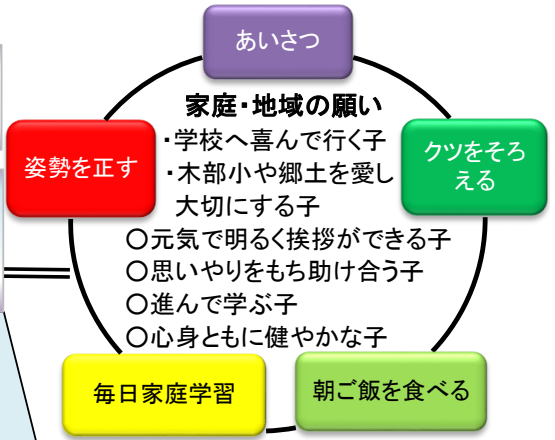
めざす児童像

健康で明るい子 がまん強く働く子
 素直で礼儀正しい子 仲よく助け合う子 進んで学習する子

きべっこ ～当たり前を当たり前のできる子をめざして～

きもちのよいあいさつ ペんきょうをがんばる

つよいからだ こころやさしく



重点目標

研究主題: 進んで伝え合い、ともに学ぶ子をめざして

確かな学力の育成

- ◎どの子にもわかりやすい授業づくりに努める。
- ◎基礎的・基本的な学習内容の定着を図る。

豊かな心の育成

- ◎進んで明るいあいさつができる子を育てる。
- ◎礼儀正しく、思いやりをもって行動できる子を育てる。

健やかな体の育成

- ◎心身ともに健康な体を育て、進んで運動する子を育てる。
- ◎規則正しい生活習慣の確立 継続的な健康教育に取り組む。

夢を育む

- ◎学校やふるさと「木部」を愛する子を育てる。
- ◎目標をもち、根気強く取り組む子を育てる。

地域とつながる学校

- ◎家庭、地域の教育力を生かした学校づくり
- ◎安全・安心な学校づくり

◎ユニバーサルデザインの視点に沿った授業に取り組み、どの子にも分かりやすい授業づくりに努める。
 ・視覚化、焦点化、共有化を図り、目的や課題に合うペア・グループ学習などにより、互いに伝え合い学び合う力を育む。
 ・日記・作文、振り返りなど、時間内に書ききる力を継続的に育む。
 ○朝の活動を有効活用する。(読書、お話しボランティア、にこきタイム)
 ○のりり集会で、話す力・聞く力をつける。
 ○読書活動の推進
 ◎家庭と連携し、家庭学習を習慣づける。

- ★授業が分かる児童が90%以上
- ★家庭学習にしっかりと取り組む児童が80%以上

◎「いつでも、どこでも、誰にでも」進んで明るいあいさつができる子の育成。
 ○道徳教育・人権教育の充実(道徳授業の公開)
 ◎いじめのない温かい学級づくりに取り組み、お互いに認め、励まし合う学級集団をつくる。(SST、SGE活動定着)
 ○魅力ある学校づくりに努め、一人一人の自己有用感を高め、いじめ・不登校の未然防止、早期発見・対応をする。
 ○個に応じた支援活動(個別支援計画・指導計画の活用)
 ◎無言清掃により、連帯感や助け合いの精神を養い、愛校心を培う。

- ★いつも進んで明るく挨拶できる児童が90%以上
- ★みんなで何か一緒に活動するのが楽しい児童が90%以上

○体育的な行事を通して、体力の向上を図る。(業間活動、マラソン、縄跳び)
 ◎規則正しい生活習慣の確立を目指し、にこきチェックカード(隔月)を通し、学校と家庭と連携し定着を図る。
 ○目と歯の健康、メディアコントロールに取り組む。(ノテレビ・ノーゲームデー)
 ○学校栄養士等との連携による正しい食習慣の指導(食物アレルギー対応訓練を実施)
 ◎お手伝いをすすんでする児童の育成をめざし、家庭との連携をもとに自己有用感の育ちと人の役に立つ喜びを味わう。

- ★早寝、早起き、朝ご飯ができる児童が90%以上
- ★家で手伝いをしっかりやっている児童が80%以上

◎ふるさとに学ぶキャリア教育の推進(体験活動の推進、町探検、福祉施設訪問、地区ふれあいまつりの参加、リーダー体験、係・委員会活動、児童会活動など)
 ○地域行事(運動会、コミュニティセンター行事、地区の祭り)への参加、PTAや地域と連携した学習、福祉やボランティアの体験活動を積極的に実施する。
 ◎自己課題や興味関心のあることに対する目標を定め、努力することを決めて取り組ませる。

- ★目標への努力をする児童が90%以上
- ★体験活動に意欲的に取り組む児童が90%以上

○安全・安心のための連携した取組(児童館、校外パトロール、下校指導、交通安全教室など)
 ◎学校の教育活動の成果など、子どもの姿を学校・学年便り、ホームページ等で発信する。
 ◎情報モラルを意識し、家庭との連携による「きべっこスマートルール」の進化を図る。
 ○保小中連携の充実を図る。(年1回以上授業参観)
 ○学校公開(学期1回以上)を設け、教育活動を広く公開する。
 ○学校評価、家庭・地域・学校協議会の評価を生かし、学校改善に努める。

- ★学校情報の発行と更新を、月1回以上行っているが80%以上
- ★きべっこスマートルールを守っている児童が80%以上

・会議・研究会等を精選し、目標時間を設定する(1時間以内)。 ・日報の活用により、共通理解の効率化を図る。